

## 第2章 いじめの未然防止

### 4 「学級活動」を通して（小学校編）

#### 1 学級活動といじめ防止

児童は学校生活の大半を学級で過ごす。自分を認めてくれる先生がいる、声を掛けてくれる友達がいる、教室では自分の役割がある…。学級活動を通して、一人一人が認められ、精神的な充実感の得られる学級をつくることはいじめの未然防止につながる。

いじめを発生させない学級をつくるには、学級生活の充実と向上という目標をもち、級友と協力したり、個人として努力したりしながら、自主的で実践的な取組が肝要である。

児童一人一人が安心感や自己有用感をもつことができる学級を土台とし、その上で、教室に起きるトラブルなど学級の課題に対して、みんなで知恵を出し合い、協力して解決する問題解決力のある学級にしていくことが大切である。

#### 2 学級活動の取組例 ～学級生活を豊かにする係活動（3年生）～

自発的、自治的な活動を通して、人間形成を図るためには、発達特性を十分に踏まえて指導する必要がある。また、学級の実態、児童一人一人の特性に合わせた指導を行うことが大切である。

中学年では、楽しい学級生活をつくるために工夫し、協力し合って意欲的に活動することができるようになる。その発達特性を踏まえた係活動のポイントは以下のとおりである。

係活動への意識付け

年度始めの時期に、学級生活を楽しく豊かなものにするために、係活動では創意工夫と協力が大切であることを確認する。

係活動	当番活動
学級生活を共に楽しく豊かにするために児童が仕事を見だし、 <u>創意工夫</u> して自主的、実践的に取り組む活動。	学級生活が円滑に運営されていくために、学級の仕事を <u>全員で分担</u> し、担当する活動。

創意工夫を促す働き掛け

#### (1) 学級会での話し合い

- ・ 係の種類や活動内容を話し合う。どんな学級を目指すのか、確認しながら話し合い活動を進める。

#### (2) 係活動を盛り上げる工夫

- ・ 教室の中に「係活動コーナー」や「アイデアポスト」を設置したり、朝の会や帰りの会で係の活動を報告する時間を設けたりする。

#### (3) 定期的な振り返り

- ・ 「係活動発表会」を行い、互いの係のよさを認め合ったり、係相互の交流や協力を促したりする。

係の例

- ・ 新聞係 ・ バースデー係 ・ 音楽係
- ・ めあて係 ・ エンターテイメント係
- ・ わくわく係 ・ なぞなぞ係 など

主体的に活動できるよう、自分がやりたい仕事を選ぶようにする。また、希望があれば、複数の係に所属することも認める。

係活動を展開すると活動が停滞したり、しばしばトラブルが生じたりすることがある。それらは、児童が知恵を出し合ったり、協力して問題を解決したりする機会でもある。



「せっかく新聞を書いたのに、つまらないと文句を言う人がいます。がんばって書いたのに…」

トラブル発生

「全員遊びのときにふざける人がいて困っています。何度注意してもやめてくれません。」

問題解決力を高める働き掛け

- (1) **話合いの場を設定する**  
係で相談したり、学級全体で話し合ったりできるような話合いの場や時間を設定する。
- (2) **問題を整理する**  
トラブルの原因を確認し、児童一人一人の思いを聞き出し、話合いに生かす。
- (3) **解決策を確認し、実践につなげる**  
児童が思いついた解決策を認め、話合いで決めた方法で取り組むよう促す。

教師は黒子になり、児童が自ら解決の方法を見つけ、実践に向かうよう支援する。学級や係の目標に照らし合わせて活動できるよう助言する。



「新聞係さん、がんばって書いたのに文句を言ってごめんなさい。でも、男子も楽しめることも書いてほしいです。」  
「どんなことを書いたらいいか、みんなにインタビューします。」

「司会の声が小さくて、遊びのルールが聞こえません。」  
「小さい声の人もいるから、みんな静かにしよう。」  
「ルールを大きな紙に書いてもいいね。」

参考：生徒指導リーフ2「絆づくり」と「居場所づくり」、生徒指導リーフ6「特別活動と生徒指導」  
楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編（平成30年7月、平成25年7月）

- 児童の思いや願いを大切にして活動を始める。一人一人のよさや得意なことを生かしたり、互いに協力したりした取組になるよう、活動内容を工夫する。
- トラブルが起きた場合、児童自らが考え、解決する経験を重ねることで「問題解決力」を育てる。教師は水面下で支援を行い、児童の自主性・主体性を尊重する。
- 定期的に振り返りを行い、互いのよさを認め合ったり、活動の成果を確認したりする。協力や信頼の大切さを確認し、児童相互の信頼感を高める。